

史料群番号 46

史料群名	つばたむらぎよぎょうくみあい (坪田村漁業組合文書)	旧所蔵者	坪田村漁業協同組合長
探訪時住所	東京都三宅島坪田村		
現在の住所	東京都三宅島三宅村		
探訪年月	(昭和25 (1950) 年)		
史料の年代	大正6 (1917) 年～昭和24 (1949) 年	史料の 総点数	59点
年代の内訳	近代 59点	筆写稿本	あり
既刊行目録	なし (関連目録「昭和五十三年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」)		

収蔵にいたる経緯

「昭和五十三年三月 水産庁水産資料館所蔵古文書目録 水産庁水産資料館・日本常民文化研究所」には、「坪田村漁業組合文書」の目録が載せられている。しかし、本史料群とは内容が一致せず、同一の史料群ではない。探訪書類に該当する史料群がないので、旧所有者名は現在のところ不明だが、内容を検討すると、昭和22年頃、坪田村の村長を務め、坪田村漁業協同組合の発起人代表として史料に見える三池忠信氏の所蔵史料だった可能性が高い。

史料群の概要

坪田村については「坪田村役場文書」の「史料群の概要」欄参照。  
本史料群は、ほぼ昭和12年～24年に集中し、「日本輸出海産物水産組合」に関するもの、坪田村政に関するもの、坪田村漁業協同組合の設立認可に関するもので占められている。特に、坪田村漁業協同組合の設立に関する史料が全体の半数近くを占め、「事業計画書」「組合定款」「組合規約」などのガリ版刷りの冊子が多数含まれている。戦後、水産業協同組合法の成立（昭和23年12月施行）にともなう漁業協同組合の設立過程を示している。

